



# 道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 629  
令和4年4月号

発行所 全国道路利用者会議  
〒100-0013  
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1  
尚友会館6階  
電話 03-3501-5611(代)  
発行人 小林 勉  
定価 20円(会員の購読料は会費を含む)

8月10日は「道の日」

## 令和4年度 道路関係予算配分概要

### 事業費 2兆3,175億円

配分総括表

(単位: 百万円)

区分	令和4年度配分額			国庫債務負担行為(ゼロ国債)					
	本省配分	一括配分	計	平準化等			事業加速円滑化		
				本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
直轄事業	895,709	566,056	1,461,765	199,726	41,448	241,174	10,260	-	10,260
補助事業	852,370	3,385	855,755	8,400	-	8,400	-	-	-
合計	1,748,079	569,441	2,317,520	208,126	41,448	249,574	10,260	-	10,260

注1. 事業費ベース  
注2. 四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。  
※ 上記の他に、調査費、諸費等がある。  
※ 防災・安全交付金(国費8,156億円[対前年度比0.96])、社会資本整備総合交付金(国費5,817億円[対前年度比0.92])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。  
※ 東日本大震災からの復旧・復興対策事業として、社会資本整備総合交付金(国費103億円[対前年度比1.34])があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

直轄事業 整備局別配分内訳表

(単位: 百万円)

区分	令和4年度配分額			国庫債務負担行為(ゼロ国債)					
	本省配分	一括配分	計	平準化等			事業加速円滑化		
				本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
北海道開発局	100,017	90,776	190,793	12,441	14,164	26,605	-	-	-
東北地方整備局	73,206	72,465	145,671	12,310	11,632	23,942	1,500	-	1,500
関東地方整備局	170,052	81,581	251,633	41,160	684	41,844	8,500	-	8,500
北陸地方整備局	46,070	39,465	85,535	12,820	3,902	16,722	-	-	-
中部地方整備局	123,209	66,160	189,369	31,802	870	32,672	260	-	260
近畿地方整備局	119,804	61,045	180,849	14,900	2,704	17,604	-	-	-
中国地方整備局	79,599	51,744	131,343	18,590	3,100	21,690	-	-	-
四国地方整備局	55,306	35,765	91,071	17,588	2,994	20,582	-	-	-
九州地方整備局	103,796	56,328	160,124	30,975	1,198	32,173	-	-	-
沖縄総合事務局	24,649	10,727	35,376	7,140	200	7,340	-	-	-
合計	895,709	566,056	1,461,765	199,726	41,448	241,174	10,260	-	10,260

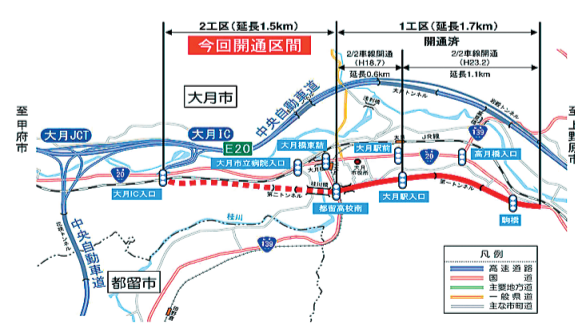
注1. 事業費ベース  
注2. 四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。  
※ 上記の他に、調査費、諸費等がある。

直轄事業については、近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえた、強靱で信頼性の高い国土幹線道路ネットワークの構築や平時時・災害時を問わない安全・円滑な人流・物流を支える道路ネットワークの構築を推進するため、大きなストック効果の発現が見込まれる道路整備に重点投資するなど、計画的な事業実施に必要な額を配分している。また、全ての人が安全・安心で快適に生活できる社会の実現に向けて、交通安全対策や無電柱化の推進などの局所的な対策についても計画的な事業実施に必要な額を配分している。

道路の維持修繕については、道路を常時良好な状態に保つため、巡回、清掃、除草、除雪等の維持作業や、定期点検及びその結果に基づき橋梁、トンネル等の計画的な修繕、緊急輸送道路の防災・震災対策、積雪寒冷地域等における雪害対策等を実施している。

① 配分方針  
補助事業については、高規格道路、IC等アクセス道路等に関する予算を計上している。

② 配分状況(全国)  
表2を参照



【開通区間】  
国道20号大月バイパス(都留高校南交差点~大月インター入口交差点) / 延長

【開通予定日】  
令和4年4月23日(土) 15時

国土交通省が整備を進めてきた、国道20号大月バイパス(都留高校南交差点~大月インター入口交差点)が令和4年4月23日(土)に開通し、これにより全線開通する。

令和4年4月23日(土) 15時 開通予定

### 国道20号大月バイパス

都留高校南交差点~大月インター入口交差点

~大月バイパス全線開通~

今回の開通により、さらなる転換・渋滞緩和・交通事故の減少が期待される。

＜道路空間の有効活用による賑わいの創出の取組＞  
大月バイパスが開通することで、幹線道路と生活道路の機能が適切に分担され、道路空間の有効活用による地域活性化・賑わいの創出の取組が期待される。例えば、大月市では、県内外から多くの来場者が訪れる「かがり火市民祭り」などのイベントを国道20号の現道区間を全面通行止めにして開催しており、このようなイベント等での道路空間の活用が可能になる。

＜三次救急医療施設への搬送時間の短縮＞  
令和3年4月1日から、甲府河川国道事務所の管理する大月チェーン脱着所を山梨県立中央病院ドクターヘリの緊急離着陸場として活用している。

大月チェーン脱着所へ向かうには、国道20号(現道)を経由する必要があるが、2車線で道路幅員も狭いため、朝夕の渋滞時は救急車両の通行に支障をきたす状態である。

今回の開通により、代替路が確保されるとともに、三次救急医療機関である山梨県立中央病院への搬送時間の短縮等が期待される。

令和3年度「道路ふれあい月間」推進標語

『道路は日本の美』

3.2km

【開通による整備効果】  
交通の転換により渋滞の緩和及び事故の減少  
大月バイパス1工区の開通により、国道20号(現道)の交通量が約6割減少し、国道20号(現道)から大月バイパスへの転換が図られている。

また、国道20号の現道では、大月橋東詰を先頭にした慢性的な渋滞が発生し、交通事故が多く発生しているが、大月バイパス1工区の開通により、現道の交通事故が減少する効果があらわれている。

今回の開通により、さらなる転換・渋滞緩和・交通事故の減少が期待される。

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI

## ニチレキ株式会社

東京都千代田区九段北4-3-29 TEL.03(3265)1511代表